

日大土木会会報

発行：日大土木会広報部会

〒101-8308

東京都千代田区神田駿河台1-8

日本大学理工学部土木工学科内

TEL：03-3259-0662

FAX：03-3293-3319

http://www.nu-dobokukai.com

新会長に竹澤三雄氏が就任

竹澤新会長挨拶

日大土木会の新会長に竹澤三雄氏（昭和三十七年卒・日本大学名誉教授）が就任されました。竹澤新会長に抱負を語っていただきました。

この度、日大土木会第四代会長に推挙されました竹澤三雄でございます。歴代会長の山田清臣氏・森元峯夫氏・松田慎一郎氏という各界で活躍されている方々の後を引き受けるという大役にはささかの不安があります。皆様方のご協力をお願いしてお引き受けすることになりました。どうぞよろしくお願い申し上げます。



竹澤三雄・新会長

2000年（平成十二年）に発足いたしました日大土木会も早十有余年経過いたしました。この間、理工学部土木工学科、社会交通工学科、工学部土木工学科、生産工学部土木工学科の学生諸君への教育支援金を些少でしたが寄付させていただきました。今後も資金が続く限り、続けてまいります。今後とも協力をお願いいたします。また、「地盤の会」による恒例の講演会が通常総会当日行なわれてまいりました。そしてさらに本年度は構造関係の方々による講演会も予定されておりますので皆様方の参加をお待ちしております。最後になりましたが、皆様の御健勝を心よりお祈り申し上げます。日大

土木会の会長就任の挨拶とさせていただきます。

平成二十四年度通常総会開催

平成二十四年度の通常総会が、去る七月十一日（水）午後五時三十分より、理工学部駿河台校舎一号館二階会議室において開催されました。総会は総務部会の鎌尾彰司部会長の司会により始まりました。

議事に先立ち、会長の松田慎一郎氏から挨拶があり、本会の副会長でもある西松好郎氏が議長に選任された。審議された議事内容は以下の通りであり、いずれの議案とも事務局の提案の通り満場一致で承認された。なお、収支決算



挨拶される松田会長

次のおりである。①日大土木会において、会の運営に關する総務・調整部会として必要



総会議長の西松副会長

に於いては竹澤三雄監事から監査報告もされた。なお、平成二十三年度の会員の増減は次の通りであった。会員総数一三八一名、入会者一名、退会者八十三名、死亡者十五名（前号の計報欄参照）

【総会での議事内容】
一、平成二十三年年度収支決算・事業報告・監査報告（収支決算：表1参照）
平成二十三年度の事業は、次のとおりである。
①日大土木会において、会の運営に關する総務・調整部会として必要

二、平成二十三年年度収支決算・事業報告・監査報告（収支決算：表1参照）
平成二十三年度の事業は、次のとおりである。
①日大土木会において、会の運営に關する総務・調整部会として必要

三、平成二十三年年度収支決算・事業報告・監査報告（収支決算：表1参照）
平成二十三年度の事業は、次のとおりである。
①日大土木会において、会の運営に關する総務・調整部会として必要



総会会場の様子

の視点から行った。
①在校生（院生）に対する土木の魅力の伝承（七月十一日開催）
「UR都市機構の事業概要」及び「都市開発事業の事例紹介（埼玉新都心）」
講師：水野政之
②卒業生に対する土木技術伝承の可能性の検討を行った。
③佐藤昭・塩電市長（昭和四十一年・理工土木卒）の講演会（平成二十三年十一月二十六日開催）の後援及び復興支援金を贈呈した。
④広報部会において、平成二十二年六月二十五日の通常総会終了後に特別講演会を開催した。
「東日本大震災 被災状況と復興の課題」
講師：岸井隆幸氏（理工学部土木工学科

表1 収支決算

(1) 収支決算総括表

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

収入	4,055,300円
支出	1,990,932円
次年度繰越収支差額	2,064,368円

1) 収入の部

金額単位：円

科目	予算額	決算額	増減
会費収入	1,500,000	1,327,960	▲172,040
総会収入	100,000	62,000	▲38,000
雑収入		32,081	32,081
前年度繰越金	2,633,259	2,633,259	0
収入合計	4,233,259	4,055,300	

2) 支出の部

金額単位：円

科目	予算額	決算額	備考
1. 事業費	1,200,000	1,184,130	
会議費		335,620	総会、部会等
印刷製本費		217,970	名簿・会報等
教育補助費		300,000	各学部教育補助
講演料		100,000	特別講演等
ホームページ等		76,540	サーバレンタル等
出張旅費		54,000	郡山出張(3名)
その他		100,000	塩竈市への支援金
2. 管理費 他	600,000	806,802	
消耗品費		154,870	事務用品・封筒
通信運搬費		556,872	総会案内発送
手数料		210	振込手数料
アルバイト		76,000	封入作業・名簿整理
食事代		18,850	発送作業補助者用
3. 予備費	0	0	
4. 次年度繰越額	2,433,259	2,064,368	
支出合計	4,233,259	4,055,300	

表2 予算案

1. 収入の部

金額単位：円

科目	平成24年度予算額	平成23年度決算額	備考
収入			
会費収入	1,600,000	1,327,960	年会費
雑収入	200,000	94,081	総会費・利息他
前年度繰越収支差額	2,064,368	2,633,259	
収入合計	3,864,368	4,055,300	

2. 支出の部

金額単位：円

科目	平成24年度予算額	平成23年度決算額	備考
事業費	1,300,000	1,184,130	総会・委員会・印刷製本・講演料・活動支援・旅費等
管理費	900,000	806,802	消耗品・通信運搬・アルバイト等
予備費	0	0	
次期繰越金	1,664,368	2,064,368	
当期支出合計	3,864,368	4,055,300	

教授)
 ②理工学部土木工学科三年生を対象に就職及び進路に関する講演会を開催した。(二件)
 ○「土質力学と人間学」講師・高見之孝氏(昭和四十年卒業)(平成二十三年十一月二十三日開催・参加学生数・約七十名)
 ○「東京都庁における土

木技術者の役割」講師・梶山修(昭和四十四年卒)(平成二十四年一月三十一日開催・参加学生数・約五十名)
 (5) 研究部会においては、
 ①郡山市地域テクノポリスセンターで日本大学工学部土木工学科とNPO法人で公開講座

を共催した。
 ②地盤の会・第十三回及び第十四回研究会を次の通り開催した。地盤の会研究会の詳細は以下の通りである。
 【第十三回研究会】
 平成二十三年七月一日開催、参加者・約四十名
 東日本大震災関連の調査・研究報告(1)

【第十四回研究会】
 平成二十三年十二月十九日開催、参加者・約三十名
 東日本大震災関連の調査・研究報告(2)
 ①総務部会
 ②部会の運営を円滑に

を進める。部会が企画し、開催する講演会・研究発表会を支援し、活躍の場が広がるよう努める。
 ②各学部の活動、活躍交流を支援し、連携を図る。
 ③広報誌の発行を支援し、配布する。
 ④会員名簿を更新し、

⑤会則・細則を検討する。
 (2) 広報部会
 ①日大土木会会報を平成二十四年度に企画・発行する予定である。内容については、三学部四学科の主任教授からの挨拶や各部会の活動報告を中心に構成し、新規会員の獲得に繋がる魅力的な誌面つ

くりを目指す。
 ②会員へのサービスの一環として、ホームページの充実を図り、日大土木会の各部会のイベント案内等の情報を提供すとともに、会員の意見交換の場として利用できるページの充実を図る。
 (3) 業務部会
 在校生に対する学習意

欲向上のための土木の魅力を伝える講演を企画し、開催する予定である。

(4) 企画部会

①特別講演会の企画
②学生の就職支援に関する講演会等の企画

(5) 研究部会

①平成二十三年度に引き続き現役学生の現地研修会の開催およびNPO法人の研究検討会を開催する予定である。
②「地盤の会」・「構造の会(仮称)」等の技術・研究発表会等を支援する。

三、平成二十四年度 予算案 (予算案・表2参照)

四、役員改選

第四号議案で審議された日大土木会新役員改選については、次の通り承認された。(敬称略)

会長 竹澤三雄
副会長 鎌尾彰司 (総務部会) 西松好郎 (広報部会)

丹上幸一 (業務部会)
梶山 修 (企画部会)
盛武建二 (研究部会)
◎印は新任

理事

内田興太郎 大木宜章
折敷秀雄 落合 実
梶山 修 鎌尾彰司
岸井隆幸 ◎工藤勝輝
古坂藤吉 後藤 浩
◎佐々木勉 佐丸雄治
佐藤洋一 島崎敏一
菅原 宏明 鈴木 宏
関 耕一 丹上 幸一
長林久夫 中野 徹
西松好郎 根本 亮
野村卓史 廣谷彰彦
深澤榮造 福田 敦
星埜正明 ◎堀井雅史
◎前野賀彦 松島 眸
三橋宏次 峯岸邦夫
盛武建二 柳沼善明
山崎 淳 山田泰生
◎渡辺 英彦
◎印は新任

監事

◎正木浩太郎
◎重村智
共に新任

また、竹澤三雄新会長から歴代の日大土木会長経験者の三名を本会の顧問に就任していただくこ

との提案があり、全会一致で承認された。
顧問 松田慎一郎 山田清臣 森元峯夫 以上

特別講演会・懇親会の開催

総会終了後に特別講演として以下の二つの講演が行われた。

①三学部四学科の各学科主任からの挨拶

②大沢昌玄(理工学部土木工学科専任講師)による「東日本大震災からの復興計画」と題し

ての講演会

主任教授挨拶では、理工学部土木工学科主任の前野賀彦先生、理工学部社会交通工学科主任福田敦(代理・小早川悟先生)、生産工学部土木工学科主任の工藤勝輝先生そして工学部土木工学科の堀井雅史先生から学科の就職の現況や学生や教員の活躍状況などの紹介があった。(写真参照)(各学科主任の先生方からの挨拶文は前号を御覧下さい) また、引き続き行われた大沢昌玄先生の東日本大震災の復興に関する講演が「東日本大震災からの復興計画」過去と未

来の狭間から」と題しておよそ三十分にとり行われました。

その後、懇親会が開催されました。懇親会冒頭で新会長の竹澤三雄氏(写真)の挨拶があり、本年春に叙勲で瑞宝章を授与された初代会長の山田清臣氏(写真)の発声により懇親会が開始されました。特別講演会で講演された各学科の主任の先生方も参加され和やかなムードのうちに懇親会が行われました。懇親会の中締めは森元峯夫元会長(写真)が挨拶され、盛会のうちに閉会となりました。



小早川主任代理 (理工・社会交通)



前野主任 (理工・土木)



堀井主任 (工学部)



工藤主任 (生産工)



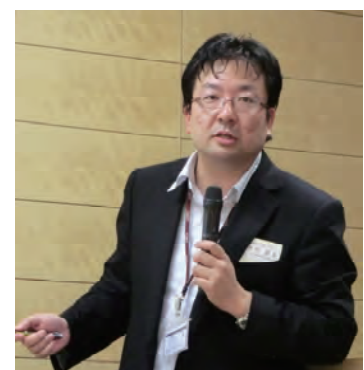
閉会の辞・森元氏



乾杯・山田元会長



挨拶される竹澤新会長



特別講演・大沢先生

第十五回 地盤の会 開催報告

地盤の会（委員長・佐々木勉氏）では、通常総会に先立ち、平成二十四年七月十一日（水）、午後二時半より理工学部駿河台校舎一号館二階一二二会議室において第十五回研究会を開催しました。

昨年の第十四回に引き続き、本学卒業の方々が携われている東日本震災関連の内容の発表いただきました。当日のプログラムは次の通りです。

【研究会プログラム】
司会：重村智（理工学部土木工学科）
また、研究会に先立ち、本学名誉教授の山田清臣先生が本年春の叙勲による瑞宝章を受賞されたこととの報告及び山田先生からの挨拶があった。最初に講演された原氏は、東日本震災の内陸部で発生した谷埋め盛土の被害事例を中心にその対策工法について紹介があった。



挨拶される佐々木委員長



講演される原氏



会場の様子

「東北地方太平洋沖地震によって生じた谷埋め盛土の変状とその対策工について」
原 勝重（新協地水（株））
「簡便なサウンドニングによる液状化調査方法」
吉澤 大造（応用地質（株））
「フィルダム・ため池堤体の改良土を用いた耐震補強とその事例」
福島 伸二（株）フジタ

「最後の福島氏の講演では、耐震性が現行基準をクリアしない既存のフィルダムが多くある中、その改修に底泥土を有効活用する新しい技術が紹介された。いずれの講演内容とも参加者の関心事の高い今後の災害対策につながる新しい工法や技術を紹介するものであったため、講演中の質疑応答はもとより、講演終了後も個別に活発に意見が交わされていた。」

顧問を囲んでの 意見交換会を開催

竹澤新体制の最初のアクションとして、去る十月十七日（水）に、総会で顧問に就任していただいた山田清臣先生（初代会長）および森元峯夫氏（第二代会長）をお呼びして、日大土木会の新役員（竹澤新会長、副会長・

梶山氏・鎌尾氏・西松氏・盛武氏、監事・重村氏が参加）にオプザバーとして山崎淳氏（日本大学名誉教授）による意見交換会が開催されました。（松田慎一郎前会長はご都合により欠席）
意見交換会では、日大土木会のこれまでの諸活動を振り返り、本年度及び今後の会員向け活動や在学生へのサポート体制等について二時間程の意見交換を行いました。特に、学生サポートについては、各学科の主任の先生と連絡を取りながら学生の就職支援等を積極的に行っていくということになりました。

平成二十五年度の総会時を目前に山崎氏を中心メンバーとした「構造の会（仮称）」を日大土木会内に立ち上げ、講演会・発表会・勉強会等を積極的に実施していくことも話題に上がりました。

会員名簿が完成

平成二十四年度版の会員名簿が完成しました。会員には会費請求書と共に送付させていただきました。名簿に修正がある際は事務局に一報を。



顧問を囲んで意見交換会

（左から森元顧問、山田顧問、竹澤会長）



顧問を囲んで意見交換会

（左から重村監事、西松副会長、山崎氏、梶山副会長）